

校長室から令和2年12月18日

青学年のさわやかさ

2020年の登校日も残すところあとわずかとなりました。6月から始まった新学期は約7ヶ月が過ぎ、年末を迎えようとしています。今年度入学した1年生は、休校明けすぐの6月に入学式を実施。密を防ぐため、2度に分けての式となり、2ヶ月遅れの中学校生活の開始となりました。

本来であれば、4月の入学式後に、中学校生活を始めるにあたってのオリエンテーション期間や、対面式や部活動見学等があり、初めての中総体やコンクールの雰囲気を楽しんだり、選手として出場できたりする可能性がありましたが、経験することができませんでした。

それでも、毎日、しっかりとした生活を送ってくれた青学年の生徒たちは、どんどん成長しています。先日、何度か授業におじゃましてみました。1組は書写、静かに無言で取り組んでいます。今、どのように取り組むと集中できるのかをしっかりと理解しています。2組は社会、先生の質問に多くの生徒が挙手し、答えていました。多くの生徒が意欲的に答えられる雰囲気はとてもいいですね。3組は社会、6時間目なのにみんな元気です。とても明るい雰囲気で、先生とやり取りしていました。4組は数学、とても静かに先生の話聞きながら考えていました。何人かのノートを見てみると、みんなよくまとまっています。5組は理科、先生の話にしっかりと反応していました。5組の生徒は、みんな背筋が伸びて、とても姿勢が立派です。6組は社会、やはり、先生の問いかけに多くの生徒の手があがります。自分で考えたり、発表を聞いたりしながら身に付くものがあります。7組は数学、黒板の重要事項をしっかりとノートに書きこんでいましたが、担当の先生が「みんな、顔を上げてください。説明します。」と声掛けすると、一斉に前を向き、説明を聞いていました。すばらしいです。8組は英語、ALTのマット先生と英語担当の先生が、工夫を凝らして作成した教材に楽しそうに取り組んでいました。英語の授業では、挙手する生徒も数多くいて、意欲の高さが見られます。9組は理科の実験、先生の注意事項をしっかりと聞き、向き合っています。授業に対する構えが素晴らしいと感じます。

青学年の生徒たちは、授業に向き合う基本的な姿勢が素晴らしいと思います。今年度は入学当初、一斉授業が中心でしたが、今は感染症に気を配りながら、グループ活動や話し合い、理科の実験も取り入れるようになってきています。自分の意見を述べたり、他者の意見を参考にしたり、自分で体験してみたりすることで、自分の考えが整理され、暗記力だけではない学力として定着していきます。それが本校の特色でもあります。

そして、青学年の生徒たちは、先生方の授業での講義を聞きつつ、話し合い活動もとても主体的に行える力があります。また、先生方からの授業中の呼び掛けに対して深くうなづく場面は、どのクラスにも見受けられ、とても前向きで素晴らしいと思います。この姿勢はずっと3年間続けてほしいと思います。各クラスの掲示物もとても丁寧に整っています。教室がとても清潔に感じます。これは、どの学年も同様であり、良いところはずっと継続してほしいと思います。

今年は、先輩方の活動をじかに見る場面がとても少なく、次年度に初めて経験する行事も多くなりますが、現在、とても意欲的にリーダーシップを発揮している緑学年の先輩と一緒に、さらによりよき活動を行ってくれるのではないかと期待しています。これから先、ずっと集団としての素晴らしい特色を生かしつつ、個々人の個性を発揮しながら、同時に課題もクリアできるように少しずつ前に進みましょう。授業を見学し、さわやかで清潔感ある雰囲気を感じ、とても嬉しく思いました。